

2016年2月5日(金)

協和エクシオ、山梨県韮崎市のメガソーラー発電施設が完成 ～山梨県内では4カ所目となる出力約1,180キロワットの太陽光発電施設～

株式会社協和エクシオ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：小園文典）では、環境事業の一環として、太陽光発電システムの設計から施工、運用システムの構築に至るまでの設備設置工事、さらには再生可能エネルギーの固定価格買取制度による売電を実施する発電事業を展開しておりますが、このたび、山梨県内で4カ所目となる出力約1,180kWのメガソーラー発電施設「祖母石ソーラー発電所」が完成し、2月4日、当社ならびに工事関係者など約25名が出席し、現地で開所式を執り行いました。

完成した「祖母石ソーラー発電所」は、当社が山梨県韮崎市内に賃借した約1万4,000平方メートルの敷地内に、約4,400枚の太陽電池モジュールを設置し、出力約1,180kW、年間発電量で一般家庭の約350世帯に相当するメガソーラーによる発電事業を実施します。

また、パワーコンディショナにエアコンレス・パワーコンディショナを採用し、運転時の高効率化を図っているほか、太陽電池モジュールの設置にあたっては、近くの幹線道路を考慮し、パネルの反射によるドライバーの運転の妨げとならないよう、通常よりも平面に近い角度でパネルを設置しています。

当社は環境事業の一環として、メガソーラーをはじめとする太陽光発電設備の設計・施工を手掛けるとともに、発電事業にも注力しています。発電事業に関しては、2012年11月の当社「府中総合技術センター」（東京都府中市）での稼働開始を皮切りに、現在はメガソーラー発電施設6カ所を含む全国10カ所で稼働しており、「祖母石ソーラー発電所」は11カ所目、メガソーラー発電施設では7カ所目、さらに山梨県内では4カ所目のメガソーラー発電施設となります。

当社では、今後もメガソーラーをはじめとする発電事業を強化していくとともに、太陽光発電システムの設備設置工事に関しても、今回の施工実績も踏まえ、提案を強化していく方針です。

「祖母石ソーラー発電所」の施設概要は以下の通りです。

《「祖母石ソーラー発電所」施設概要》

施設名称：祖母石ソーラー発電所

所在地：山梨県韮崎市下祖母石 2258-1

施設規模：・設置用地面積 14,356 m²

・太陽光発電設備

太陽光パネル出力 約 1,176.6 kW

太陽光パネル枚数 4,440 枚（単結晶型）

年間発電量（見込み） 約 1,200,000 kWh/年

発電事業者：株式会社協和エクシオ

工事期間：自 2015年9月1日～ 至 2016年1月31日

運用期間：自 2016年2月～ 至 2036年2月

売電開始日：2016年2月3日

設計・施工：株式会社サンクレックス



「祖母石ソーラー発電所」

本資料に関する報道機関からのお問い合わせ先

株式会社 協和エクシオ

〒150 - 0002 東京都渋谷区渋谷 3 - 29 - 20 総務部 CSR・広報室

電話：03 - 5778 - 1075（直） FAX：03-5778-1228

担当：望月 政広